

《東北以外の被災地から》

～茨城県 日立市～



《Paul》

震災の日、自分は病院にいて中々情報が入って来なかった。

交通機関が麻痺していて自宅に戻れず、出来る事は病院の前で、ひたすらタクシーを待つだけだった。

自分の目で情報を確認出来たのは、何時間も経ってからで、しかも映画を観ているようで、こんな事が現実になっているんだ！と、冷静に色々と考えたり出来るようになったのは、それからまた、数時間後だった。

直ぐに日立の知り合いに連絡をしたんだけど、携帯が繋がらず、と言うか使えない状態で、安否確認は出来ませんでした。

日立市でも「太平洋側の海沿いは相当な被害だ！」と聞き、情報を入手したかったんだけど、被害の大きい東北の情報だけで、何とも言えない複雑な気持ちでした。

その後、無事は確認出来たんだけど、気が付いたら日立に来ていた。

そして、色々と考え悩んだ結果「ここに住もう！」と。

日立で被災した人達には、賛否があったと思う。

自分も追い出される覚悟で行った。現実この目で見て、現実を知って「何かを伝えなきゃって。。。」

勿論、余震と津波警報の恐怖から逃げる事は出来なかった。

けど気付くと、「俺はココが大好きだ！」って、胸を張って言えるようになっていたし、ずっと居たい、住みたいと思うようになっていました。

しかし現実には、厳しかった。TVの情報しか知らない人の、「日立市は被災していない。」と言う人が今でもいる。と言う事。

これからも、沢山自分が経験したこと、見て来た事を伝えていきたいと思います。

～宮城県 東松島市～



《マサ拓Z Vo:喜国雅彦(漫画家、ex.大島渚)》
震災以後、宮城県の東松島市などでボランティアさせてもらっています。
元の姿を取り戻したところもあれば、手つかずのところもあります。
それを自分の目で見ただけでも、大きな意味はあると思います。
春です。とりあえず、北に出かけてみませんか？
犬ふんランニング日記 <http://inufun.sblo.jp/>

～宮城県 石巻市～



年末、遅いX'masプレゼントを持って行った。
みんなで歌のお礼をしてくれた、
鹿妻地区の幼稚園の子供達
地面が乾いただけで、何も復興してない
大川小学校付近



《マサ拓Z Ba:反町YUKI哲之》
俺ごときには、大した事は出来ない。
だが、震災後に石巻市救済プロジェクトを立ち上げた。
http://web.mac.com/ohp1969/ishinomaki_m/top.html
全国の支援者のおかげで、物資を送り、また足を運ぶ事が出来る。感謝します。
2年経っても、復興なんてしちゃいない。忘れずに。

《チーム Butterfly :山根映像》

2011.04 某日。炊き出し。
800人もの被災者が避難生活を送っている
宮城県女川町総合体育館。
現地に近づけば近づくほど町は見るも無残な
光景で、大震災の恐ろしさが伝わってきた。
まずやらなければならないのは我々が被災地の
現状を把握すること。体育館の中に入ると目に飛び込んできたのは各地方からのたくさんの応援メッセージの貼り紙だった。
「全力で応援します！」「絶対に負けないでください！」と力強く愛あふれる文章などが綴られていた。持ち主が分からない写真やアルバム等も
貼り出されており、この大津波がいかに激しく町を呑みこみ人々の大切なものをさらっていったのかを目の当たりにした。帰り道、我々のバスに
いつまでも手を振る姿は目に焼きつき、きっと一生忘れられない出来事として心に残っている。

～宮城県 女川町～

